



扇小だより

学 校 だ よ り

第2号

令 和 2 年 5 月 1 1 日

足 立 区 立 扇 小 学 校

校 長 宗 像 文 子

折れない心

校 長 宗 像 文 子

校庭の木々の葉が緑色に輝く季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。

緊急事態宣言が延長となり、さらに休校期間が延びることになりました。休校中は、課題の添削など色々にご協力いただきましてありがとうございます。今後もしばらくご協力いただくことになります。よろしくお願いいたします。

さて、あるアナウンサーがこの状況下で次のような呼びかけをしたそうです。「いま緊急事態宣言を受けて自分を律している人ほど、観光や遊びに出ている人を腹立たしく思うかもしれません。しかし、皆さんの様な人たちがいるからこそ欧米のような医療崩壊を防いでいます。今はみんなの足並みがそろわなくてもその姿勢は必ず誰かの行動を変えるはずです。そして全国にはまだ感染者の少ない地域も多くあります。不用意に生活エリアを越えた移動をしないこと。これが誰かのふるさとを守ることに繋がります。」と。辛い不安な状況の中で、人はつい他人に対して厳しくあたってしまうことがあります。しかし、負の感情をもつことは当たり前と受け入れつつ、他の人も同じ思いをしていることを知り、自分の我慢や自粛している行動は大きな意味のあることと考えることが、前に進む一歩につながると思います。「折れない心」とは、「色々な困難をはねのけ前進する力」だけではなく現実を受け止め、意味のあるものにしていく「しなやかさ」なのです。ぜひ、この休校期間を頑張っている子供たち、そして保護者の皆様自身を褒めてあげてください。小さな自信の積み重ねによって「心のしなやかさ」は増していきます。そして、他の人とつながってください。一人では辛くても、周りに話せば楽になることもあります。それだけではなく一緒に大きな流れを作ることができるかもしれません。

日本全体が経験したことの無い不安をかかえている時だからこそ、現実を受け止め、学校と保護者が一緒に助け合いながら、できることから取り組んでいきましょう。いつの日か、「あの時色々経験したおかげで今頑張れる。」と言える日がくるように。

入学式を終えて

4月6日に入学式が行われ、51名の1年生が扇小学校に仲間入りしました。入学式の後、それぞれの学級で1人1人の名前を呼ぶと、担任の方をしっかりと見て元気よく手を挙げてくれました。お辞儀の仕方やお話の聞き方、手の挙げ方がとても上手な1年生の姿に驚かされ、小学校生活を楽しみにしている気持ちや頑張りたいという気持ちが伝わってきました。

入学してすぐに臨時休校となり、子供たちは残念だったと思いますが、1年生の立派な姿を見て、学校再開後のこれからがとても楽しみになりました。

いよいよ小学校生活の始まりです。たくさんの学びと成長がある1年になるように、保護者の皆様と一緒に支えていきたいと思っています。

1年学年主任

入学式の様子



ご退職・ご転出された先生方より・パート2